

こまつだ 議会だより

臨時号

2011.5.27発行

委員 興幸 田中 謙 会



“4年間よりしくお願ひします”

新しい議会が スタート

5月10日に、第2回臨時会が開かれ、正副議長をはじめ、各委員会の構成、各役職等を決定し、監査委員の選任に同意しました。

就任のごあいさつ



議長
池田 久男
[68歳] 岩堀区 (現)

豊かで住みよい
町づくりを

この度、議員各位のご推挙によりまして、議長の仕事に就くことになりました。誠に身に余る光栄でありまして、心より感謝いたすと共に、この重責を痛感しています。

私は、もとより浅学非才であり、その器ではありませんが、ここにご推挙を受けました上は、一身を挺し、そのご厚志に誠心誠意努力いたす覚悟であります。議会運営につきましては、不偏不党、公正無私の立場を堅持する所存です。東日本大震災の発生により、町民の防災意識も高ま

り、本町における大災害の備えにつきましても見直し、再検討が急がれます。経済不況など、町税の減収が続く大変な財政状況の中、課題も山積しています。

これらの問題をひとつずつ解決し、今後も持続可能なまちとして、豊かで住みよい町づくりを目指し、町民の負託に応えなければなりません。と考えていますので、町民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。私の就任のあいさつといたします。



副議長
大嶽 弘
[66歳] 幸田区 (現)

美しく
和やか

皆さまのご支援により、再度議席を賜りました。責任の重さを自覚し、頑張ります。

東日本大震災では、知恵とチームワークでの復興、見返りを期待しない救済支援活動など、大和の心・祈りの美しさを感じました。

議員の役割は、議会の状況、活動成果を地域に報告すると同時に、地域の声を議会に届ける必要性を特に感じます。

それには、自らが研さん努力を怠らないことと考えています。

幸田町の生活環境は、山

や農地などの自然、鉄道や国道などの交通に恵まれています。

恵まれた環境では、人も植物も素直に成長できると言われています。

素直だけでは、町の自立継続は難しい。

地方分権・地方主権の論議の中、これからの町の姿を皆で語り、知恵を出し合っていける環境作りを望んでいます。

副議長としての職責を常に忘れず、議長の補佐役として、一歩一歩の前進ができればと考えております。



安心・安全で 暮らしやすい町を

杉浦あきら [62歳]
鷲田区 (新)

町内の皆さまの暖かいご支援により、この度初めて町議会議員として働かせて頂くことになりました。新入の私には予想以上の大変厳しい選挙戦でしたが、貴重な体験をさせて頂き、改めて身の縮る思いでおります。

三月十一日に、東日本大震災に遭遇し、いかに安心、

安全が大切か再認識させられました。そこで私のモットーとして、(1) 安心、安全で暮らしやすい町づくり (2) 住民との対話を掲げました。

身近で、顔の見える議員でありたいと思い、住民との対話を常に心がけていきたいと思っております。来春の新駅オープンに伴い、

相見土地区画整理事業が着実に進み、新しい住民、若い世代が急速に増えました。地元幅広い世代の意見や要望をできるだけ多く聞き、議会に届けたいと思っております。

皆さまのご支援、ご指導、ご協力をよろしく願いたします。



安全・安心で 明るい町づくり

中根秋男 [62歳]
横落区 (新)

未曾有の大災害となった東日本震災の被災者の皆さんのことを思いますと辛い町議会議員選挙でしたが、地元の方々の温かいご支援とご協力を賜り初当選の栄を賜りました。

この喜びを肝に銘じ、今後町民の皆さまの為に一生懸命に働きます。私は、「安全安心で、住み良いまちづくり」「健康に暮らせるまちづくり」「自然を大切に暮らすまちづくり」「高齢者、障害者への思いやりのあるまちづくり」

り」をスローガンに、全力で取り組んでまいります。町民主体の町民のための政治を心掛け、より住み良い幸田町を築いていきたいと考えています。

皆さまの今後一層のご指導・鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。

皆様の温かいご支援により町議会での活躍の場を与えていただき、新人議員としてその責任の重さをヒシヒシと感じています。世の中は激動の真ただただ中にあります。IT（情報技術）からICT（情報通信技術）へ、ITS（高度道路交通システム）は第2世代へ、そしてエコ技術、環境技術の導入が進展中で

同じく幸田町も相見地区の開発、幸田駅前開発、国道23号の整備、町内3地域での市街化計画進展など変化の真ただ中にいます。しかしながら一般道の整



スマートタウン 幸田を目指して

志賀恒男 [62歳]
六栗区 (新)

備、交通信号制御、情報発信力、未整備農地、企業誘致、保育、高齢化、医療など課題山積です。

幸田町が先進のスマートタウンのモデル地域となるよう社会・経済・技術の変化を先取りし、農業・工業・商業の三位一体の発展、繁栄を目指します。

安全、安心、快適な暮らしができるまち創りを、皆さまと一緒に考え、創意と改革で実行することに全力を尽くします。

引き続き、皆さまのご指導ご支援をお願いします。

自然豊かな 住みやすいまちづくり

鈴木雅史 [67歳]

野場区 (新)



このたびの町議会議員の選挙におきましては、地元の方々のご支援により、初当選させていただきました。

今後の4年間、初心を忘れず、一生懸命勉強し、町民の皆さまの負託に応えていきます。

私の基本姿勢は、常に町民の声を町政に反映させることであり、きさくに話のできる議員として働きたいと考えています。

この幸田は、他の地域からみてみますと、緑豊かで交通の利便性も良く、近くに働き場所もあり、海にも



近いという地域特性のあるバランスのとれた良い町と思っております。

さらに幸田をより住みやすい、安全・安心で活力のある緑豊かな町、安心して子どもが育てられる町、住んでよかつたと思える町づくりをめざしていきたいと思っております。

精一杯頑張りますので、今後とも皆さまのご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

福祉・ふるさと そして、教育

中根久治 [67歳]

市場区 (新)



このたびの町議会議員の選挙で、地元の方々はじめ、数多くの町民の方々に温かいご支援を賜り、新人議員としてスタートすることになりました。

皆さまから、たくさんの方々のご要望を聞かせて頂き、私の責務の重さを実感

しております。

安全で住みよい町、お年寄りから子どもたちまでが温かく、生き甲斐を感じる社会を実現するために、福祉の充実とふるさとづくり

に努力します。深溝は道路網の整備で、遠くの市町へは便利になりましたが、近くに行くのには、とりわけ、お年寄りには不便になりました。交通事故・犯罪の発生数を減少させ、日常の買い物に便利な商業施設の充実などの基盤整備に努力し

ます。

また、幼児から中学までの教育に携わってきた経験から、未来を託せる人づくりに全力で取り組みます。厳しい経済状況下、納得のいく行財政改革で、幸田町が活性化するように努めてまいります。今後一層のご指導とご支援をよろしくお願申し上げます。

観光で人を呼ぶ まちづくり

都築 一三 [67歳]

大草区 (新)



幸田町は、緑住文化都市の創造を目指しています。

その中で予算を使わず、経済効果と雇用を生み出すこと、それは観光です。幸い幸田町は都会の人達が訪れたい自然があります。また、歴史的な遺産や町民会館などの文化施設があり、

暖かい人情もあります。3つの駅からの観光マップを作り幸田町がにぎわう仕組みを商工会と連携して考えたいと思います。

東日本震災を教訓に災害に強いまちづくりと共にコミュニティ豊かな地域を目指し、健康的な協働社会を作ってまいります。少子高齢化の流れの中で今後は、お年寄りを大切にとの考えで空き店舗や空き家を活用してデイサービスやグループホームに使えるような提案をしていき、それ



に携わる人員を増やすことで雇用の拡大も増やしていきたいと考えています。町議会議員の一番の仕事は、住民の声を町政に届ける事だと思っております。そこで車座集会を実施していきまます。皆さまのご要望をお聞かせ下さい。

安全・安心で 住みよい環境づくり

浅井武光 [64歳]

坂崎区 (現)



今回の町議会議員の選挙には、地元の皆さまを始め、町民の皆さまのご支援により、当選させていただきその責任の重さに身の引き締まる思いであります。

3月の東日本大震災で被害を受けた皆さまに心からお見舞い申し上げ、早期の復興をお祈り致します。

私は、「住みよい環境と豊かな町づくり、皆さまの声を町政に」をモットーに掲げ、坂崎学区、北部地域の安全で安心して住める町づくりと環境整備に全力で取り組んでいきます。

今後とも、皆さまのご支援、ご指導をよろしくお願ひいたします。

ずっと、住んでいたい まちづくり

酒向弘康 [56歳]

里区 (現)



町民のみなさまの力強いご支援により、2期目の当選をさせていただきました。

新人の時と同じ、身の引き締まる思いです。

まずは、被害が甚大となった東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福と

ひとりの声を町政に 届ける代弁者

水野千代子 [59歳]

岩堀区 (現)



皆さまのご支援により、三たび議員として働く機会を与えていただきました。

大好きな幸田町のため、今まで以上に一人ひとりのご意見をしっかりと受け止め、生活者の代弁者として町政に届けるとともに、行政の

被災されたみなさんへ、お見舞いを申し上げます。

まだまだ先の見通せないところも多くありますが、

この震災を教訓として、私たち一人一人が当事者意識を持たなければなりません。

幸田町も「災害に強いまちづくり」「生命にかかわる安全対策」を根本から見直しをしていかなければなりません。行政と地域が一体となり「協働」で被害を最

小限にするための「減災」への取り組みを提案、提言をしてまいります。

そして「安心してずっと幸田に住んでいたい」と思える、まちづくりを進めるため、防犯・交通安全・福祉・教育・子育て対策。

活力ある豊かなまちづくりへ、産業・文化振興を目的とした行動をしてまいります。

みなさまの一層のご支援、ご指導をお願いいたします。



監視をまいります。

まず、東海・東南海地震に備え防災体制の強化を進めます。子育て支援として、休日保育・病後児保育の実施。障がい者・高齢者施策の拡充。心と体の健康を守る施策。男女共同参画を進めていきます。

また、皆さまから「議会の内容や議員の仕事が分か

りづらい」との声があり、議会の情報公開として、会議録の検索システムやインターネットによる本会議の録画中継の配信、議会報告会の実施など、議会の「見える化」の推進に努力していきます。

今後とも変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

わが町を活力ある町に

夏目 一成 [67歳]

芦谷区 (現)



この度の町議会議員の選挙に際しましては、地元の皆さまを始め多くの町民の方々の温かいご支援とご協力により、4度目の議席を賜りました。

今後の議員活動については地元の要望である幸田駅の橋上化、駅西の開発は幸田駅前再開発と併せて幸田駅周辺の活性化を推進し、にぎわいのある街づくりの早期実現を図ります。

また、芦谷蒲郡線の道路拡幅事業については、地権者の方々のご意見やご希望を十分お聞きし、町とのパイプ役を果たしてまいります。



日本の将来を担う子供たちを交通事故、事件、災害から守り問題を生じさせない教育環境づくり。

東海・東南海・南海地震の防災対策の見直しを早急に取り組むなど、多くの課題があります。

幸田町に住んでよかったと思える町づくり、そして心と心のふれあいを大切にできる町づくりをめざしてまいります。

今後とも指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

町民の声を町政に

笹野康男 [64歳]

里区 (元)



皆さまの力強いご支援、ご声援をいただき、再度議席を賜りました。今後町民にわかりやすい議会、開かれた議会を目指し頑張つてまいります。

町民の声を町政に生かす行政でなくてはなりません。そのためにも議会が十分に議論を交し、町民の声に耳

を傾け開かれた議会にするよう努力をまいります。

- (1) 情報公開を通じた町民にわかりやすい議会
- (2) 町民との対話集会を通じた議会活動の公開

この2点を考え議会活動に傾注致します。

東日本で起きた大地震を思った時、この地方でもいつ起きるかわかりません。本町も安全で災害に強い町づくりを早急に考え、安心して暮らせる町づくりに努力しなければなりません。

また、これからますます

農業 工業 商業 均衡ある町をめざして

内田 等 [71歳]

高力区 (現)



このたびの町議会議員の選挙に際しましてご支援を頂きました地域の皆さんを始め、多くの町民の方々のお力添えによって五たび当選の栄を頂きました。

期待に沿うべき最大限の努力、勉強を重ねてまいります。我が幸田町が今かかっている多くの課題をひとつひとつ将来を見据えた上で「勇気と決断」を信念に

解決していく所存でございます。

特に町の副都心としての機能を備えつつある北部地域の発展、活性化の推進を積極的に進めてまいります。

平成24年3月には明治以来の地域の願望でありました新駅が北部地域に開業いたします。地域の皆さんそして幸田町が積極的に推進に取り組んで来た成果であります。私も平成元年以来取り組んでまいりました。大変うれしく思う所であり

新駅開業を契機に我が町が「住んでみたくなる町」「住みたくなる町」をめざして頑張つてまいります。

今後共、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



少子高齢化が進みます。高齢者を守る社会、充実した教育のできる環境が大切と思えます。

町民の皆さまと共に素晴らしい幸田町を築きます。「町民の声を町政に」をモットーに頑張つてまいります。

今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

福祉・防災優先のまちづくり

丸山千代子 [59歳]

横落区 (現)



長びく不況で「少しでも家計を助けたい」と、働きたい女性が増え、「安心して預けられる保育園に」という父母の願いは切実です。子育てや介護など、女性の目線で「人間が大切にされる政治」をめざし、暮らしを守るためがんばります。

暮らしに寄り添い ささえる幸田町に

伊藤宗次 [68歳]

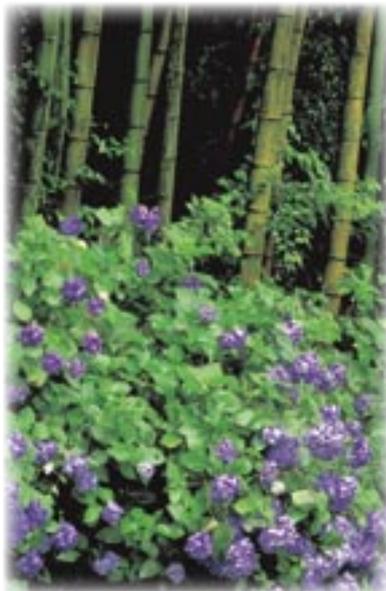
荻区 (現)



町の公共料金3700万円引き上げ、住民の収入が減りつづけているのに、国保税6000万円増税の議案が十分な議論もせず、だまって、なんでも賛成してスーと議会を通すオール与党。
暮らしをおびやかす町政をささえ、あと押しするオール与党。

安心して住み続けられるまちにしていくには、普段から医療・介護・福祉・子育て支援などの強い基盤とネットワークがあつてこそ災害時にも大きな力を発揮することができま

す。高すぎる国保税の引き下げや70歳以上の窓口負担無料に取り組み、住宅リフォーム助成制度とあわせて耐震化で地域経済の活性化をすすめます。



困難な時こそ、暮らしに寄り添い、ささえるのが政治の原則、原点です。「住民こそ主人公」の信念のもとで、みなさんと一緒に運動で、国保税を1人1万円、1世帯2万円引き下げをめざします。

70歳以上の医療費無料化署名の取り組みすすめ、実

化をすすめます。

営利目的となる保育園の民営化に反対し、ひとりひとりの子どもたちの発達保障と、学校教室のエアコン設置で教育環境の整備充実をすすめます。

「住民こそ主人公」の立場で、自治体の仕事を福祉・防災優先のまちづくりに転換するために力をつくします。

現をめざします。福祉・防災最優先のまちづくり。

住民の生命、財産を守ることは自治体の使命です。幸田民報を引きつづき発行し、町の政治、議会の議員の活動をお知らせし、住民の暮らし第一の幸田町をめざしがんばります。

監査委員を選出

・監査委員 (議会選出)

夏目一成 (吾谷)
大須賀好夫氏の任期満了にともなう。

(反対2、賛成13で同意)

編集後記

4月30日から新議員としての任期がはじまり、編集委員も新たなメンバーとなりました。

本町の議会だよりは、全国的にも高く評価されており、広報の目的を謙虚に思い直し、質を落とさず、わかりやすく議会の状況をお伝えできるよう努めてまいります。

皆さまのご意見、ご感想をさらなる励みとし、頑張りたいと考えております。

(大嶽 弘)



議会広報特別委員会

委員長 大嶽 弘

副委員長 丸山千代子

委員 水野千代子

〃 酒向 弘康

〃 都築 一三

〃 中根 久治

〃 志賀 恒男

発行責任者 議長 池田 久男

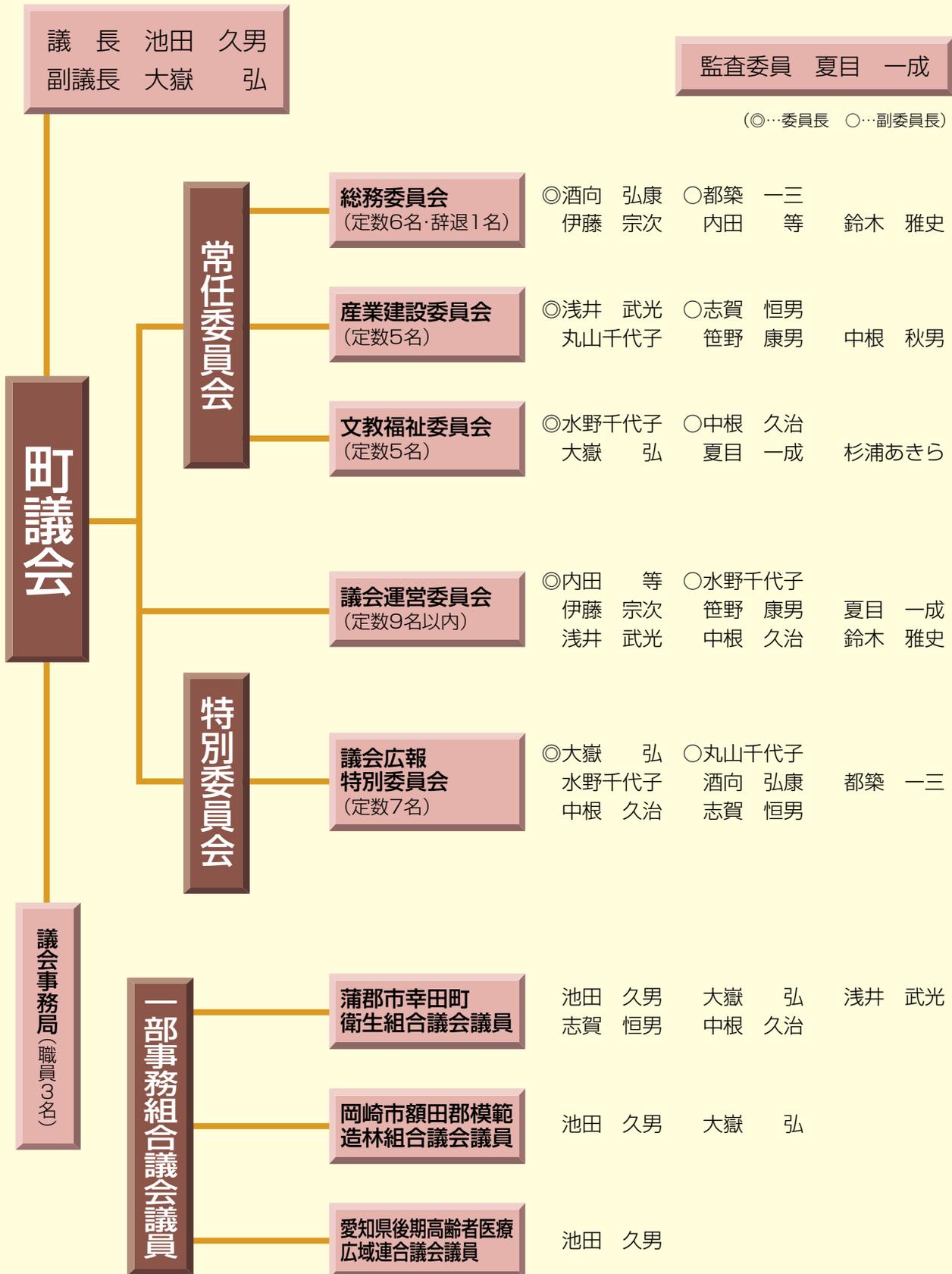


議会の構成

議長 池田 久男
副議長 大嶽 弘

監査委員 夏目 一成

(◎…委員長 ○…副委員長)



総務委員会
(定数6名・辞退1名)

◎酒向 弘康 ○都築 一三
伊藤 宗次 内田 等 鈴木 雅史

産業建設委員会
(定数5名)

◎浅井 武光 ○志賀 恒男
丸山千代子 笹野 康男 中根 秋男

文教福祉委員会
(定数5名)

◎水野千代子 ○中根 久治
大嶽 弘 夏目 一成 杉浦あきら

議会運営委員会
(定数9名以内)

◎内田 等 ○水野千代子
伊藤 宗次 笹野 康男 夏目 一成
浅井 武光 中根 久治 鈴木 雅史

議会広報
特別委員会
(定数7名)

◎大嶽 弘 ○丸山千代子
水野千代子 酒向 弘康 都築 一三
中根 久治 志賀 恒男

蒲郡市幸田町
衛生組合議会議員

池田 久男 大嶽 弘 浅井 武光
志賀 恒男 中根 久治

岡崎市額田郡模範
造林組合議会議員

池田 久男 大嶽 弘

愛知県後期高齢者医療
広域連合議会議員

池田 久男